

Letter from Tsuruno Meguro to Fumio Fred and Yoneko Takano, May 20, [1942]

先日はいろいろと伝えて下さいまして有難う御座いました。御手紙も嬉しく拝見いたしました。あなた方も忙がわしかったです。キャンプ生活も少しはおつてきましたか。あなた方もこちらへは出る事なることと楽しみにいつかしらと待っておりましたの。別れ別れになりましたね。けれどもいつか会える時がありましょう。それまでたがいにおからだを大切にしておいて平和になるまで其の日其の日楽しく過ごしましょうね。私達もキャンプへきてから早二週間になります。皆働いて居りますよ。正子はチューシャしてから気持ちが悪いとて休んで居ります。パパは毎日ベースボールを見たりそちこち話してあるいていますよ。お風呂、便所、食堂に近くてたすかります。只三度の食事の時待つのがいやですよ。

こないだの暑い時、たおれた人が多かったですよ。ハリード[ハリウッド]の人くるとまもなく食事の時ならんでたおれて其のまま死なれた方がおりました。またベベ二人生まれました。鈴木さん、島津さん、佐藤さんはとなり皆しってる方ご近所に居りますよ。まだシトア[ストア]も出来ません。タベは日本のオドリもありました。まだ二千入ることと思います。ほんとうにへんな生活になりました。毎日せんたく、アイロン、家の中にこたした立話したり、三度食べる。それで1日過ごしますよ。米子よ、あなたのたんじょうですね。何もご馳走もなく何も上げられませんのね。日曜日は教会へ行きますか。何も仕事はないでしょうからなる又出なさい。二三男さんも行くよう。

太田さん、ワシオさん、カキバさんと大田さんは近所ですよ。

先日アダムスサンにコックシ頼みまして送って戴きました。良一はハングリ。毎日何か食べたいのでしょう。あなた方もたりないでしょう。コーヒーも時々めないからやせませよ。私家中も元気ですから心配なさらなくてください。パパさんの所も教えてください。また書きますから。仲よく過ごしなさいよ。ママさんの洗濯の時手伝いなさい。さようなら  
ママより

5月20日

二三男様よね様

[Written at Pomona Assembly Center]